

抗 HIV-1 Nef 抗体, ウサギポリクローナル

65-015 100 ul

保存温度：保冷剤を入れて輸送、受領後は小分けにして-20℃ で保存

反応特異性：HIV-1 及び HIV-2 の Nef タンパク質と反応

免疫原：大腸菌で発現した全長の HIV-1 Nef タンパク質。Tag は付いていない。

用途

1. ウエスタンブロット (1/1,000-1/3,000)
2. ドットブロット (1/3,000)
3. 免疫沈降 (ユーザーが最適条件を決める)
4. ELISA (ユーザーが最適条件を決める)

性状：0.09%アジ化ナトリウム添加抗血清

背景：HIV-1 Nef タンパク質は、エイズウイルス複製の初期に合成されるアクセサリ蛋白質の1つで、感染細胞内に多く存在する。当初、ネガティブ因子(**negative factor**)からこの名前がついたが、現在では、エイズウイルスの最も重要な生物学的特性を担う蛋白質として注目されている(1)。この蛋白質は、宿主 T 細胞にある情報伝達蛋白質に直接作用し、エイズウイルス感染に、あるいは感染細胞の生存維持に有効に働き、非感染細胞に対しては、アポトーシスを誘導する(2)。また、エイズウイルスの感染に重要な CD4 や MHC といった細胞表面のレセプター蛋白質のエンドサイトーシスや分解にも関係している。

データリンク： ProtKB: [P03406 \(NEF_HV1BR\)](#) GenBank: [AAA44988.1](#)

参考文献

1. Arora VK *et al* "Nef: agent of cell subversion." *Microbes Infect* **4**: 189-199 (2002) Review PMID: [11880052](#)
2. Fackler OT and Baur AS "Live and let die: Nef functions beyond HIV replication." *Immunity* **16**:493-497 (2002) Review PMID: [11970873](#)

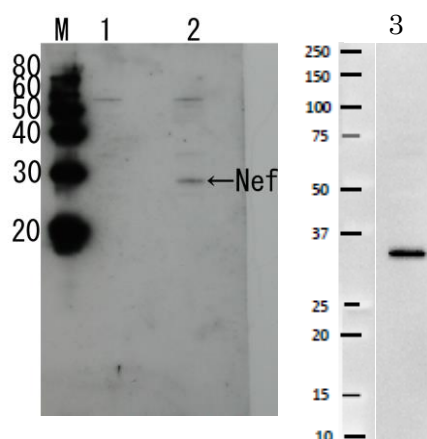


図1 抗 HIV-1 Nef 抗体を用いたウエスタンブロット法による Nef 抗原の検出
レーン 1 : MT4 細胞抽出液
レーン 2 : HIV-1 (LAI 株) 感染 MT4 細胞抽出液
レーン 3: HIV-2 (UC2 株) 感染細胞抽出液
抗血清は 1,000 倍希釈して使用